

## シミュレーターについて

### 1 エアバス社シミュレーター (EC135FFS) について

項目	訓練内容等
汎用性があると 思われる訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常操作訓練 (OEI, Tail Rotor 故障)</li> <li>・計器飛行訓練</li> <li>・悪天候時の対処訓練</li> <li>・昼間、薄暮、夜間の訓練</li> <li>・任務飛行に伴う CRM 訓練等</li> </ul>
別機種への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・双発機運用へ移行するための訓練 (OEI 対応)</li> <li>・EC135FFS は BK117-C2 の非常操作訓練の 80%に適用可 (コックピットの酷似)</li> <li>＜別機種で対応が難しい訓練＞</li> <li>・通常操作訓練 (コックピット操作訓練)</li> <li>・非常操作訓練 (システム故障)</li> </ul>

FFS (模擬飛行装置) = レベル B ~ D (全て実機相当)

OEI = 片発停止時に操縦性を確保すること

CRM (クルー・リソース・マネジメント) = クルーやそれ以外の関係者、環境、機器をリソース (資源) と捉え、これらをマネジメントすることでチームとして最大限のパフォーマンスを発揮し、安全運航を行うこと

### 2 飛行時間への算入について

<p>回転翼機に係る技能証明等の取得のために必要な飛行時間について、以下の通りシミュレーターによる訓練時間を算入可能 (航空法施行規則別表第二)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用操縦士 (回転翼) : 飛行時間 150 時間のうち、10 時間</li> <li>・定期運送用操縦士 (回転翼) : 飛行時間 1000 時間のうち、100 時間 (飛行訓練装置については 25 時間)</li> <li>・計器飛行証明: 飛行時間 50 時間のうち 30 時間 (飛行訓練装置については 20 時間)</li> </ul>
---

### 3 消防防災ヘリコプターの機種に対応しているシミュレーターについて

機種	国	レベル
アグスタウェストランド AW139	イタリア、アメリカ等	FFS レベル D
ユーロコプター AS365 N2, N3	フランス	FFS レベル D
シコルスキー S76	アメリカ	FFS レベル D
ベル 412EP	アメリカ	FFS レベル D
川崎 BK117	なし	なし